

# シス75 + ペメ + アテゾ + FPD 療法

PVCフリー  
フィルターあり  
催吐リスク: 高度  
細胞障害性分類

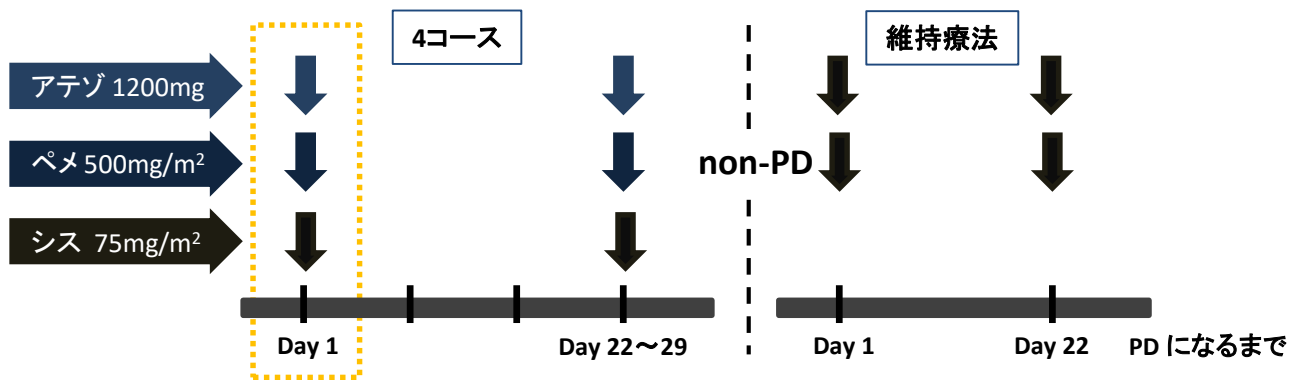
## レジメン概要

投与は3週毎を1コースとし、4コース行う。4コース施行後、non-PD例では、維持療法としてペメ500mg/m<sup>2</sup>、アテゾ1200mgを3週毎行う。

初回投与の1週以上前から最終投与後22日目までの間、パンビタン末1g/day 連続内服する。  
また、VB<sub>12</sub>(シアノコバラミン)を9週毎に筋注する。

必要に応じて、day2-4にデカドロン錠8mg、day1-4にオランザピン5mg 1×夕食後を内服する。

シス: 炎症性  
ペメ: 非壊死起因性  
ペムプロ: 非壊死起因性



## 処方 Day 1

### Rp 01 点滴静注

硫酸マグネシウム.....8mL  
KCL注20mEqキット.....1本  
生食 1L.....1袋  
ルートキープもかねる  
\*フィルター付きのルートを使用すること!  
メイン(2)以降の薬剤が届き次第、  
500mL/hへ速度変更 300mL/h

### Rp 02 点滴静注

生食 50mL.....1本  
500mL/h

### Rp 03 点滴静注

生食 250mL.....1本  
**テセントリク 1200mg**  
投与時間 初回60分 2回目以降30分可

### Rp 04 点滴静注

生食 50mL.....1本  
500mL/h

### Rp 05 点滴静注

パロノセトロンバック 0.75mg ... 1袋  
デキサート注 .....9.9mg  
アロカリス注235mg .....235mg  
120mL/h

### Rp 06 点滴静注

生食 100mL .....1本  
**ペムトレキセド 500mg/m<sup>2</sup>** 800mL/h

### Rp 07 点滴静注

生食 50mL .....1本  
500mL/h

### Rp 08 点滴静注

生食 500mL .....1袋  
**シスプラチン 75mg/m<sup>2</sup>**  
\*シスプラチン容量分を廃棄 500mL/h

### Rp 09 点滴静注

生食 250mL .....1袋  
\*側管からフロセミド(20)ワンショットあり  
終了後、抜去 500mL/h

### Rp 10 点滴静注

フロセミド<sup>20</sup>20mg.....1A  
\*メイン(9)投与中に側管よりワンショット  
看護師実施可

## Day 1~4 必要に応じて

### Rp 01 内服 day2-4

デカドロン錠.....8mg

### Rp 02 内服 day1-4

オランザピン錠...5mg 1×夕食後

**注意** 水分負荷をしていない為、  
飲水の必要性を指導すること。